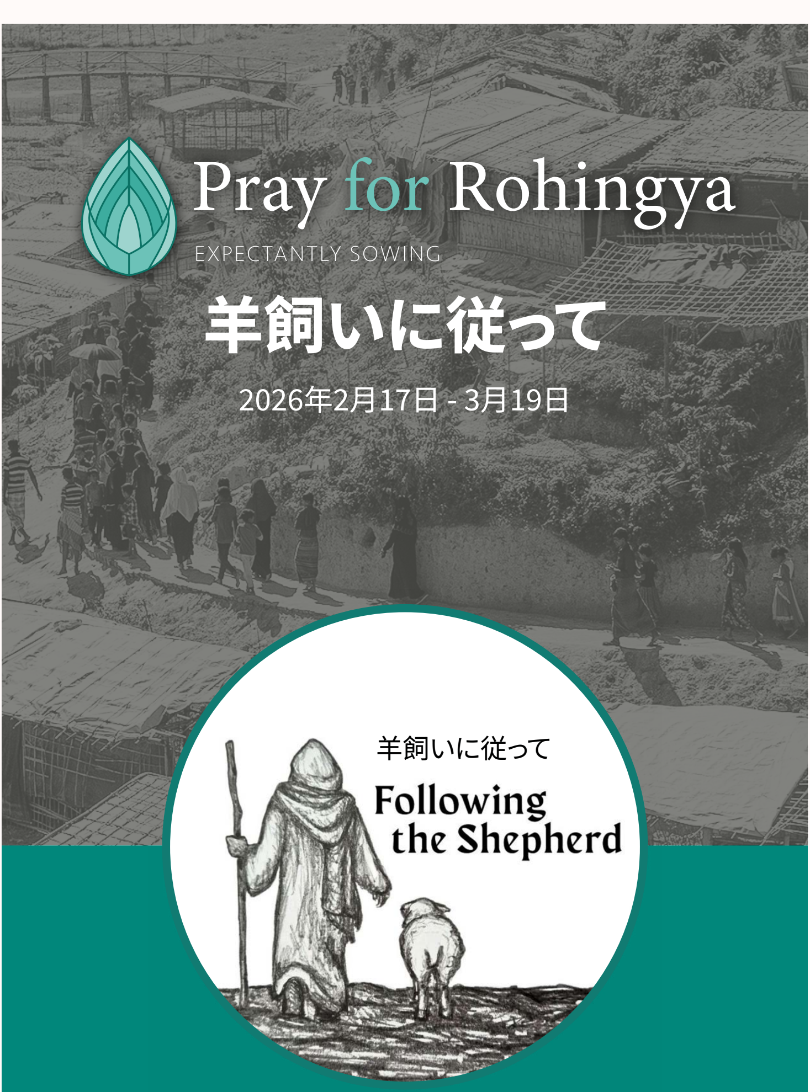


Pray for Rohingya

EXPECTANTLY SOWING

羊飼いに従って

2026年2月17日 - 3月19日

‘まことに、主なる神はこう言われる。見よ、わたしは自ら自分の群れを探し出し、彼らの世話をする。牧者が、自分の羊がちりぢりになっているときに、その群れを探すように、わたしは自分の羊を探す。わたしは雲と密雲の日に散らされた群れを、すべての場所から救い出す。’（エゼキエル 34:11–12）

わたしには、この囲いに入っていないほかの羊もいる。その羊をも導かなければならない。その羊もわたしの声を聞き分ける。こうして、羊は一人の羊飼いに導かれ、一つの群れになる。（ヨハネ10:16）

ロヒンギャの人々が魂の羊飼いを知ることができるよう、祈りましょう。

この30日間の期待をもってささげるとりなしの祈りにご参加いただき、ありがとうございます。皆さんが人々、場所、働き、そして様々な状況のために祈る中で、神があなたの心にロヒンギャの人々への深い愛を植えてくださることを、願っています。以下の祈りの要項は、世界各地で様々な状況に置かれているロヒンギャの人々のために祈る際の導きとなるようにまとめられています。共通するテーマもありますが、それぞれの地域には独自のニーズがあります。

アメリカ

1

アメリカにおけるキリストの体である教会が、異国から来た人を温かく迎え入れ、惜しみなく愛する心を示すようにお祈りください。神がその主権によってアメリカ全土の都市へと導かれてきたロヒンギャの人々の心の叫びに、教会が耳を傾けることができるように祈ってください。ウィスコンシン州ミルウォーキーのような多くの人々が集まる地域であっても、ミシガン州カラマズーのような少数しかいない地域であっても、同じように祈ってください。

2

あるロヒンギャのクリスチャン家族がアメリカでの生活に苦労しています。彼らの住む街にはロヒンギャの家族があまりいません。この家族に必要な糧が与えられ、ロヒンギャの人々がより多く住む都市へ移住すべきかどうかの導きが示され、そして彼らがキリストにあってさらに成長できるようお祈りください。

3

アメリカ全土で神の言葉を聞いているロヒンギャの人々に、真理を受け入れるための柔らかな心と理解力が与えられるように祈ってください。特に、二人の男性のためにお祈りください。彼らは神の言葉がイエスについて明らかにしていることを理解し始めていて、神が彼らの心を優しく揺り動かしてくださっているのを感じています。また、イエスに心を閉ざしている人々の心が和らぎ、開かれていくよう祈ってください。

ミャンマー

4

ミャンマーでは内戦が続き、ラカイン州の大部分はアラカン軍の支配下にあります。状況は厳しく、食料価格は高騰し、移動は制限され、公共サービスへのアクセスも困難です。まるで羊飼いのいない羊のように、虐げられ、助けを得られていないロヒンギャの人々のためにお祈りください。彼らを心から守りたいと願っておられる、まことの羊飼いの知らせを聞き、信じることができるようお祈りください。

5

ミャンマーは依然として深刻な混乱状態にあります。ロヒンギャのような人々に対して無視や危害を与えてきたことについて、指導者たちの心に悔い改めの思いが与えられるように祈ってください。福音によって権力者たちの人生が変えられ、彼らがキリストのような思いやりに満ちた羊飼いとなるよう、大胆に祈り求めてください。

インド

6

インドに住むロヒンギャのクリスチャンたちは、ロヒンギャコミュニティ内の一部の人々からの迫害や脅迫に加え、常に国外追放の危険にさらされています。詩篇23篇4節に記された希望によって、彼らが力づけられ、支えられるようにお祈りください。「死の陰の谷を行くときも わたしは災いを恐れない。あなたがわたしと共にいてくださる。あなたの鞭、あなたの杖 それがわたしを力づける。」

7

ロヒンギャの教会がキリストの姿を反映する者へと成長し、神の愛と真理を表す事ができるよう祈りましょう。信徒一人ひとりが強められ、知恵と誠実さをもって教会を導くことに献身する牧者を立ててくださるよう、神に祈り求めてください。

8

音声版聖書の翻訳作業が引き続き前進し、世界中のロヒンギャの人々が福音を聞くことができるように祈ってください。

9

2025年にインドから強制送還されたキリスト教徒とイスラム教徒のロヒンギャの一団は、現在ミャンマーの抵抗勢力の護衛を受けて生活していますが、生きて国外へ脱出しようとしています。彼らの旅路が守られるよう祈ってください。そして「わたしを苦しめる者を前にしてもあなたはわたしに食卓を整えてくださる。」（詩篇23:5）と語られる主と出会えるよう祈りましょう。そしてキリスト教徒たちが主の導きに信頼して歩む姿が、他の人々への証しとなるよう、お祈りください。

パキスタン

10

パキスタンには約50万人のロヒンギャが暮らしており、その多くがカラチに住んでいます。私たちの知る限り、現在、イエスを自分の羊飼いとして知り、従っている人はいません。どうかラマダン期間中に、イエスが夢や幻を通して彼らに現れ、多くの人々を御自身へと引き寄せてくださるようお祈りください。

11

メディアチームはカラチに住むロヒンギャコミュニティを特定し、ターゲットを絞ったキャンペーンを展開しましたが、まだ反応はありません。ロヒンギャの人々がイエスに希望と力を見いだせるように、福音をどのように伝えるべきかを知る知恵が与えられるようにお祈りください。

インドネシア

12

インドネシアで聖書の音声版を聞く人々が、神と出会い、聖霊が彼らの心を開いてイエスが真にどのような方であるかを知ることができるようにお祈りください。また、北スマトラ州アチェの地域に、慈悲と思いやりに満ちた支援が与えられるようにお祈りください。

マレーシア

13

Mさんは最近船でマレーシアに到着しましたが、旅の中で深い心の傷を負いました。彼は、すでにイエス・キリストを信じている兄のもとに身を寄せており、兄は信仰のことを隠さずに話しています。イエスがMさんや、同じように到着したばかりの人々に、深く寄り添い、癒しを与えてくださるようお祈りください。

14

Hさんは13年間マレーシアに住んでいます。昨年、夫が糖尿病で亡くなり、幼い子供たちを抱えて収入のない状況におかれるという悲しい事がありました。「荒野に道」（イザヤ43:19）を作られる主が、Hさんの霊的な、そして実生活の必要も満たしてくださるようお祈りください。

15

職場での摘発が増加し、多くのロヒンギャ男性が拘留され、家族は支えを失ったまま生活を続けなければならない状況に置かれています。Sさんは1年近く夫に会えず、2人の娘を一人で育てています。Mさんは妊娠9ヶ月で夫の拘留に直面しました。これらの家族が、イエスを彼らの支えであり、真実な友として知ることができるようにお祈りください。

16

Aさんは数年間イエスに従い、積極的に信仰を分かち合っています。仕事の合間を縫って家庭訪問をしたり、友人に聖書物語のビデオを送ったりしています。主と共に歩むAさんの忍耐が守られ、人々を愛をもって善き羊飼いへと招くAさんの熱意が続くようにお祈りください。

ネパール

17

信者たちの主導する取り組みにより、ネパールのロヒンギャの人々83人に住居が提供されました。しかし、数か月後、近隣住民が苦情を申し立て、警察によって彼らは退去させられました。この信者グループがロヒンギャの友人たちに安全、希望、そして尊厳をもたらそうと努める中で、神の恵みが彼らの前進を促してくださるよう、お祈りください。

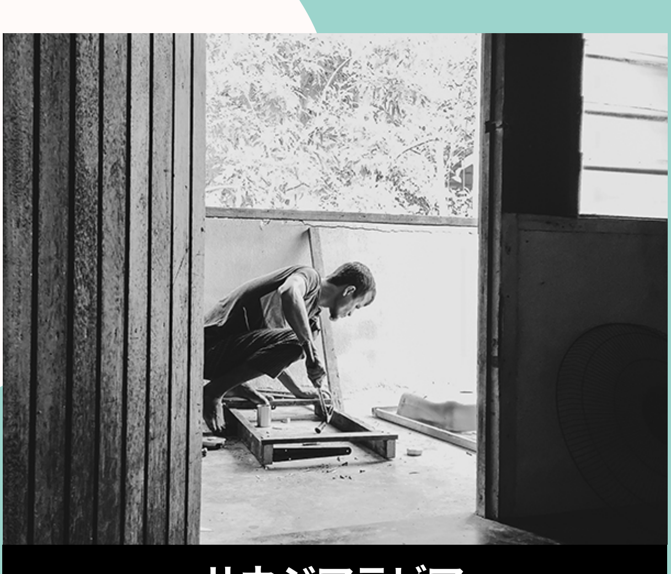
18

ネパールのロヒンギャの中に、元イスラム教徒の新しい信者（MBB）が与えられたことに感謝します。外国から来た信徒が彼を信仰へと導き、地元の信徒が彼を正しい道へと導いています。この新しい兄弟がキリストにあって成長していく中で、彼の守りと導きが豊かに与えられるようにお祈りください。

ヨルダン

19

私たちの知る限り、ヨルダンのロヒンギャの人々に福音を届けるための意図的な働きはこれまで行われていません。神が、ご自身の民の心に、羊飼いのいない羊のように導きと世話を必要としているロヒンギャの人々への思いを置いてくださるようにお祈りください。彼らが祈りの中で受け入れられ、善き羊飼いに従う者たちによって誠実に追い求められるよう、祈ってください。



サウジアラビア

20

サウジアラビアのロヒンギャに特化して福音を届けるために働いている人は知られていません。信徒たちが、羊飼いである主の愛と配慮について聞いたこともない、推定50万人といわれるロヒンギャの人々への思いやりに心を動かされるようにお祈りください。また働き人がこの地に入って、忠実に福音を伝えることができるよう、主が道を開いてくださるようにも祈ってください。

21

国内各地の都市で、政府による近代化や開発のために土地が整備される中、ロヒンギャの人々の住まいが破壊され続けています。再び住いを失った人々のために、そして家はあっても苦難にあえぐ人々のために、日々力となり、魂を導いてくださる優しい羊飼いである主に出会えるようお祈りください。

タイ

22

300人以上のロヒンギャの若者たちが、移民収容所に収容されています。タイでの平穏な生活を求めて、祖国の虐殺から逃れ他ことが「罪」とされています。信徒たちは週に一度、彼らに英語を教え、一人ひとり心を込めて寄り添おうとしています。彼らの歩みが、イエスに希望を見出す道へと導かれるようにお祈りください。

23

新しく信仰を持ったFさんは、10年間有効なIDカードの承認を得ようと取り組んでいます。「このカードがあれば、イーサー・アル＝マシー（イスラム教でのイエス・キリストの呼び名）に興味を示してくれた友人たちに福音を伝えるための旅に出られます」と彼は言います。彼に福音を伝えたいという思いが与えられていることを神に感謝しましょう。彼がこの召命に従う中で、善き羊飼いである神が彼を導き、守ってくださるようお祈りください。

24

タイでロヒンギャとして生きるということは、逮捕の恐怖に怯えながら、隠れて暮らすことを意味します。危険な旅の途中で人身売買業者から屈辱を受け、搾取されてきた彼らは、より良い生活を切望しています。ロヒンギャの人々が、彼らを愛し、正しい道へと導く羊飼いなる主に出会えるよう、お祈りください。

バングラデシュ

25

バングラデシュの信徒たちの指導者たちが、委ねられている人たちに仕える中で、善き羊飼いの謙遜な生き方に学びながら歩んでいけるようにお祈りください。

26

キャンプ内の診療所の開設許可と十分な資金提供が政府から継続的に得られていることを神に感謝します。どうかこの診療所が、キリストに従うスタッフとの交流を通して、人々がイエスと真に、そして個人的に出会える場所となるようお祈りください。

27

翻訳作業に携わっている「兄弟」や「いとこ」たちが、聖書を単なる学問的な作業や仕事としてではなく、心と思いを込めて向き合うことができるようにお祈りください。また、マタイによる福音書の翻訳を通して初めてイエスの姿を見始めている人々のためにお祈りください。そして彼らの心がイエスに向けられるようお祈りしましょう。

中国

28

中国のロヒンギャの人々は、ミャンマー国境近くの瑞麗（ルイリー）などの都市に住んでいます。彼らの生活についてはほとんど知られておらず、現在、彼らに福音を伝える人もいません。イエスに従う信徒達の心がロヒンギャへの深い憐れみに動かされ、彼らのために祈り、真の羊飼いであるイエスへと導くために歩みを進めることができるようお祈りください。

日本

29

日本政府は、コックスバザールのロヒンギャの人々を支援するため、国連世界食糧計画（WFP）に資金を提供しています。また、モビリティ・フォー・ヒューマニティは、仕事や留学のために日本へ渡航する人々を支援し、彼らの将来に希望をもたらしています。こうした心遣いを神に感謝し、日本の信徒たちがロヒンギャに手を差し伸べ、イエスのことを伝えていけるようにお祈りください。

アラブ首長国連邦

30

アラブ首長国連邦には推定5万人のロヒンギャが住んでいます。生活は比較的安定しており、差別を受けることはありまありません。ロヒンギャの人々に深い霊的な渇きが与えられ、そして信徒たちが彼らのために祈り、イエスのことを伝えるための心の通うつながりを築くことができるようにお祈りください。

祈り続けたいですか?

QRコードをスキャンしていただくと、Signal アプリから定期的に祈りのリクエストが届きます。

ロヒンギャのためさらに祈りたい方のために：
pray4rohingya.org